



日语基础

旅游类

苏琦 主编

中国中央广播电视大学出版社
日本国株式会社讲谈社

日 语 基 础

旅 游 类

苏 琦 主 编

江苏工业学院图书馆
藏书章

中国中央广播电视大学出版社
日本国株式会社讲谈社

日 语 基 础

旅 游 类

苏 琦 主 编

*

中国中央广播电视大学出版社 出版
日本国株式会社讲谈社

新华书店北京发行所发行
河北省固安县印刷厂印装

•

开本787×1092 1/16 印张16.25 插页2 千字373

1991年5月第1版 1991年5月第1次印刷

印数 1—8000

定价：7.25元

ISBN 7—304—00597—1/H·32

前 言

《日语基础·旅游类》是一本纯话语教科书。对象为中央广播电视大学日语课程第二学年学生以及有志于学习旅游日语的学员。

本课程的目的在于培养学生综合运用所学的有关词汇、语法点、句型等，达到旅游工作者应具备的初步水平。为此，本教科书共安排40个场景，结合我国国情，从迎送到旅游景点的介绍、生活上的照顾以及一般性回答等目前接待日本游客时最常见的话题，以帮助学员在学完第一学年课程的基础上，进一步打好口语的语言基础，并在将来的实际工作中应对类似的问题和情况。

在日语话语中，敬语的使用既是一个特点，又是一个难点。日语对话的表达方式要看说话对象的不同而有所不同。本课程的会话对象是日本游客，因此，作为接待一方须掌握较规范的话语，不仅应该使用敬体，还要学会使用敬语，所以掌握敬语的用法是本课程的一个重点，因为用得好坏或恰当与否会直接影响到双方的感情交流。至于日方游客的话语，还根据性别、年龄结构等的不同而有所不同，这些只要理解就可以了。

这里还要说明的一点是，本书是一本与电视图像紧密结合的口语化教材，不同于以往的一般教材。事实上，人们在实际交流中，为了表达自己的思想，常常以手势、表情等来相助，本书努力体现了这一特点，因此希望在学习过程中仔细收看电视图像，从中得以融会贯通。本书共20课，包括生词1087个和句型107个。基本语法在第一学年均已出现，在这里仅做了些补充。本课程的全部授课时间为80学时，即每周授课2学时（外加辅导3学时），两周上一课，全学年共40周，上完20课。

在本书编写过程中，承蒙日本国立国语研究所所长水谷修教授、昭和女子大学山田泉副教授以及竹中宪一先生、小林悦夫先生等提供了宝贵的意见，在此一并致以衷心的感谢。又本书每一课所附的生词、注释、语法、句型、练习等均由北京第二外国语学院潘寿君讲师编写。

北京第二外国语学院教授 苏 琦

1990年夏

出版说明

作为种子，人们欣赏它的发芽、开花，而很少关注它在泥土中的萌发；作为果实，人们赞叹它的硕大、丰华，也就不再谈论它所经受的风吹雨打。中日合作的这一日语课程项目也经历了长期、艰辛的准备过程：

一九八四年六月，中国原教育部副部长黄辛白先生访问日本广播协会（NHK），并与日本放送教育学会会长西本三十二先生商谈了两国在广播电视教育方面进行交流与合作的问题，为中央广播电视大学与NHK之间的合作，架设了友谊的桥梁。

一九八四年十月，以中国中央广播电视大学原副校长张群玉女士为首的中国广播电视教育考察团赴日考察。在访问过程中与日本国多方面探讨了两国在教育节目交流和合作的可能性，其中包括语言节目。

一九八五年八月，日本NHK国际公司理事小口昭二先生等访华，与中央广播电视大学初步确立了合作开设日语课的意向。

一九八六年十月，中国中央广播电视大学副校长牛振冬先生率团访日，就课程的性质、结构、媒体配合等方案，与日本NHK国际公司进行了认真、详细的磋商，形成了中日合作在中国利用先进的广播电视技术手段开设日语课程项目的蓝图草案。

一九八八年四月，日本NHK国际公司理事小口昭二先生率团访华，与中央广播电视大学协商确认了合作方案和计划。

一九八八年七月，中国中央广播电视大学副校长牛振冬先生率团访日，与日本NHK国际和日本国际文化交流中心签定了资助中央广播电视大学编写“日语基础课程教学大纲”及教材的协议，项目正式启动。

一九八八年十一月二十五日由中国国家教育委员会副主任滕藤先生与日本国驻华大使中岛敏次郎先生分别代表两国政府在利用一九八八年度日本文化无偿援助制作日语课部分电视节目协议上签字。

一九八八年十一月二十二日，“日语基础课程教学大纲”撰写完毕，并得到了中国国家教委的认可。

一九九〇年五月开始，《日语基础》教材陆续分册出版。

一九九一年二月十二日，由中国国家教委副主任朱开轩先生与日本国驻华大使桥本恕先生分别代表两国政府在利用一九九〇年度日本文化无偿援助制作日语课部分电视节目协议上签字。

一九九一年四月，日语基础课程全部200学时电视节目，在中日两国教授和技术人员的努力下，胜利完成。

今天作为成果奉献给读者的这套教材和将在屏幕上看到的节目，凝聚了中日双方多少专家、学者、技术人员、管理人员的汗水和勤劳。我们由衷地感谢为这个项目做出巨大贡献的

中日政府部门、民间团体和个人：

中国国家教育委员会，中国国家科学技术委员会，中国驻日使馆，中国国家教育委员会国际合作司、电教司、高教司、中国教育电视台。

北京大学、对外经贸大学、北京第二外国语学院、上海复旦大学、西安交通大学、北京外国语学院、华中理工大学、北京师范大学等。

日本国外务省、日本国际交流基金、日本国际协力事业团、日本国驻华使馆。

日本 NHK、日本 NHK 国际公司、日本讲谈社、日本凸版印刷株式会社。

前后参加此项工作的中日人员有上百名，恕不在此一一列出，但他们默默无闻的工作和汗水将会被中日人民永远铭记。

我们奉献的不仅是一门普通的语言课程，我们是在建造一座桥梁，一座中日两国人民加强经济文化交往、加深理解和交流的桥梁，为的是不忘历史和中日人民世世代代的友好，正如日本原首相竹下登先生访华时在谈及此项目时所说的：她是中日两国文化交流的新起点！

中国中央广播电视大学

一九九一年四月

编写说明

本书共 20 课，每课由课文、生词、常用语、注释、语法、句型、练习等组成。

一、课文

由(1)(2)两段课文组成，其内容紧密围绕主题展开，每周学习一段。

二、生词

生词指在第一学年的基础上，新出现的词汇。例句和练习全部采用已学过的单词。生词用以下形式列出：

生词—读法—声调—词类—汉语释义

1. 读法以平假名或片假名在()中标出。

2. 声调采用①②③…的形式标明。助词、造词成分、接头词、接尾词、助动词、形式名词等则不标。

3. 词类按学校传统语法分类，见以下略语表。

[名]—名词	[代]—代词	[专]—专有名词
[副]—副词	[连体]—连体词	[接]—接续词
[感]—感叹词	[助]—助词	[接头]—接头词
[接尾]—接尾词	[组]—词组	[造]—造词成分
[形]—形容词	[形动]—形容动词	<敬>—敬语词
[助动]—助动词	[形名]—形式名词	[他]—他动词
[自]—自动词	[五]—五段动词	[サ]—サ变动词
[上一]—上一段动词	[下一]—下一段动词	

4. 汉语释义以课文中出现的意义为主，兼顾其常用意义。译词尽量采用直译。

三、常用语

主要选用了课文中出现的、接待工作中常用的一些习惯说法，要求能灵活运用。

四、注释

除对词语的意义、用法进行简要说明外，还从日本的文化背景、生活习俗的角度做了注解。

五、语法

对第一学年尚未出现的或须加以补充的语法现象，通过实用例句，对其接续法和不同用法做了简明扼要的分类说明。

六、句型

对课文中出现的常用句型，通过典型例句，讲解其接续法和用法。

七、练习

1. “替换练习”主要是对一些常用句型和语法的机械性练习。
2. “填空练习”主要练习助词、副词、接续词、感叹词等。
3. “中译日”是对主要句型、惯用句的练习。
4. “回答问题”是为了综合调查对课文的理解和掌握程度的练习。
5. “看图说话”主要是为了提高会话能力的练习。

八、本书使用的符号

…——表示省略。

～——表示其他成分。

()——①表示某些句子需要加入的成分或可省略替换的成分。

②表示某种注释或说明。

目 录

第一課 空港で	(1)
生词	(3)
常用语	(5)
注释	(5)
语法	(9)
句型	(10)
练习	(11)
第二課 市内へ向かう	(14)
生词	(16)
常用语	(18)
注释	(18)
语法	(20)
句型	(22)
练习	(24)
第三課 ホテルで(一)	(27)
生词	(29)
常用语	(31)
注释	(31)
语法	(32)
句型	(35)
练习	(36)
第四課 ホテルで(二)	(40)
生词	(42)
常用语	(43)
注释	(43)
语法	(46)
句型	(48)
练习	(50)
第五課 両替をする	(53)
生词	(55)
注释	(56)

语法	(57)
句型	(60)
练习	(61)
第六課 電話のかけ方	(64)
生词	(66)
常用语	(67)
注释	(67)
语法	(68)
句型	(69)
练习	(71)
第七課 手紙・小包を出す	(75)
生词	(77)
常用语	(78)
注释	(78)
语法	(80)
句型	(83)
练习	(85)
第八課 気候・日本語	(88)
生词	(90)
常用语	(91)
注释	(91)
语法	(93)
句型	(94)
练习	(96)
第九課 万里の長城	(99)
生词	(101)
常用语	(103)
注释	(103)
语法	(104)
句型	(106)
练习	(107)
第十課 庶民の暮らし	(111)
生词	(113)
常用语	(114)
注释	(114)
语法	(116)
句型	(118)
练习	(119)

第十一課 北京ダックを食べる	(122)
生詞	(124)
常用語	(126)
注释	(126)
语法	(128)
句型	(129)
练习	(131)
第十二課 レストランでの食事	(134)
生詞	(136)
常用語	(137)
注释	(138)
语法	(139)
句型	(141)
练习	(142)
第十三課 天安門に登る	(145)
生詞	(147)
注释	(149)
语法	(150)
句型	(151)
练习	(152)
第十四課 故宮を見物する	(156)
生詞	(158)
常用語	(160)
注释	(160)
语法	(161)
句型	(163)
练习	(164)
第十五課 買い物をする(一)	(168)
生詞	(170)
常用語	(171)
注释	(171)
语法	(173)
句型	(174)
练习	(175)
第十六課 買い物をする(二)	(178)
生詞	(180)
常用語	(181)
注释	(181)

语法	(183)
句型	(184)
练习	(185)
第十七課 自由市場に行く	(188)
生词	(190)
注释	(191)
语法	(192)
句型	(194)
练习	(195)
第十八課 蘇州の旅	(198)
生词	(200)
注释	(202)
语法	(203)
句型	(204)
练习	(205)
第十九課 杭州に遊ぶ	(208)
生词	(210)
常用语	(211)
注释	(212)
语法	(213)
句型	(215)
练习	(216)
第二十課 空港へ見送る	(218)
生词	(221)
常用语	(222)
注释	(222)
语法	(224)
句型	(225)
练习	(226)
附录	(230)
总句型表	(230)
总词汇表	(233)

第一課 空港で



登場人物：宋仲良（ガイド、男性、20歳過ぎ）

上野謙一（観光客、男性、60歳前後）

川上ゆきこ（観光客、女性、約50歳）

中西敏明（観光客、男性、30～40歳）

{1}

（空港の税関前。税関を出た日本人客がプラカードを目印に集まってくる。）

宋：世界旅行社でございます。東京旅行社の皆様はこちらでございます。
（日本人客に）皆様、お疲れさまでした。ようこそいらっしゃいました。

客：（口々に）こんにちは。どうぞよろしく。

宋：皆様、まもなくここを出発いたしますが、その前に大きな荷物はこちらで預らせていただきます。まとめてホテルまでお運びいたしますので、ひとつこちらのほうに固めていただけないでしょうか。なお、貴重品やこわれ物などの手荷物は各自でお持ちください。

中西：はい。じゃ、これお願いします。

宋 : はい。2個でございますね。どうもお疲れさまでした。

川上 : あのう。スーツケースと、それからこれも(あまり大きくないバッグを差し出しながら)一緒に預かっていただけますか。重いもんですから。

宋 : 貴重品とか、こわれ物とかはございませんね。

川上 : はい。べつに…。

宋 : そうですか。では、一緒にお預かりいたします。

川上 : すみません。

上野 : すみません。ちょっとトイレに行きたいんですが、まだ大丈夫ですか。

宋 : はい、どうぞ。お待ちしております。トイレは左へまっすぐに行って、突き当りでございますから。

上野 : はい。どうも。

(しばらくして荷物の引きつきも終わり、上野ももどってくる)

宋 : 皆様、おそろいのようにございますね。では、車を手配してございますから、ご案内いたします。どうぞこちらへ。

(皆、その後続く)

(2)

(空港の玄関先でバスを待っている)

宋 : マイクロ・バスがまもなく参ります。少々お待ちください。申し遅れましたが、わたしは世界旅行社の宋仲良でございます。宋はウかんむりの下に木を書きます。仲良はちょうど仲良しの仲と良いの2字です。宋仲良でございます。

中西 : (笑って)そりゃ覚えやすい名前ですね。ひとつ仲良くやりましょう。

宋 : ありがとうございます。これから先、皆様のお世話をさせていただくこととなります。どうぞ仲良くしてやってください。よろしく願いいたします。

一同 : こちらこそ。

宋 : ご旅行中、何かございましたら、ご遠慮なくお申しつけください。それはそうと、皆様、朝がずいぶん早かったのではございませんか。

中西 : ええ。10時の便でしたからね。かなり早起きしましたよ。

宋 : じゃ、お疲れになったでしょう。飛行中はいかがでございましたか。酔われた方はいらっしゃいませんか。

上野：みんな大丈夫のようです。幸いよく晴れていましてね。なかなか快適でしたよ。

宋：それはようございました。

上野：で、ここは北京のどの方角なんですか。

宋：東北に当たります。

(バスが来る)

宋：さあ、車が参りました。お疲れではございましょうが、これから早速、天壇公園へご案内いたします。

(客、次々とバスに乗り込む)

宋：どうぞお足もとにお気をつけください。

生词

登場人物(とうじょうじんぶつ)⑤	[名]	出场人物
宋仲良(そうちゅうりょう)③	[专]	宋仲良
ガイド①	[名、他サ]	(登山、旅游的)职业向导、导游
男性(だんせい)⑩	[名]	男性、男
～歳(さい)	[造]	(年龄)～岁
上野謙一(うえのけんいち)①	[专]	上野谦一
観光(かんこう)⑩	[名、他サ]	观光、游览
客(きゃく)⑩	[名]	客人
～前後(ぜんご)①	[接尾]	～前后、～左右
川上ゆきこ(かわかみゆきこ)⑤	[专]	川上由纪子
約(やく)①	[副]	大约
中西敏明(なかにしとしあき)②	[专]	中西敏明
税関(ぜいかん)⑩	[名]	海关
プラカード③	[名]	(带把的)牌子、标语牌
目印(めじるし)②	[名]	记号、目标
旅行社(りょこうしゃ)②	[名]	旅行社
皆様(みなさま)②	[代]	各位、大家
ようこそ①	[组]	衷心欢迎
口々に(くちぐちに)②	[副]	异口同声地、口口声声地
まもなく②	[副]	不久、马上
出発(しゅっぱつ)⑩	[名、自サ]	出发
まとめる⑩	[他下一]	统一、集中

ホテル①	[名]	饭店、宾馆
運ぶ(はこぶ)①	[他五]	搬运、运送
固める(かためる)①	[他下一]	堆到一处、集中起来
なお①	[接]	另外、还有
貴重品(きちょうひん)①	[名]	贵重物品
こわれ物①	[名]	易碎物品
手荷物(てにもつ)②	[名]	随身携带的物品、手提行李
各自(かくじ)①	[名]	各自
あのう(=あの)①	[感]	喂
スーツケース④	[名]	旅行衣箱
バッグ①	[名]	手提包
差し出す(さしだす)①	[他五]	拿出; 伸出
ながら	[助]	边…边…
引きつぎ(ひきつぎ)①	[名]	接收
もどる②	[自五]	返回、恢复
そろろ②	[自五]	聚齐、齐全
手配(てはい)①	[名、自他サ]	安排、布置
案内(あんない)③	[名、他サ]	陪同、带路、向导
皆(みな)②	[代]	大家
続く(つづく)①	[自五]	跟着、跟随
玄関(げんかん)①	[名]	大门
バス①	[名]	大轿车、公共汽车
マイクロ・バス⑤	[名]	面包车、小公共汽车
申し遅れる(もうしおくれる)①	[自下一]	说晚、说迟
ウかんむり②	[名]	宝字头、宝盖儿
木(き)①	[名]	木、树
仲良し(なかよし)②	[名]	要好、好朋友
覚える(おぼえる)③	[他下一]	记、记住
世話(せわ)②	[名、他サ]	照顾
仲良くする(なかよくする)①	[自サ]	和睦、友好
一同(いちどう)④	[名]	全体、大家
それはそうと④	[组]	(转换话题或顺便提起)对了、另外
朝(あさ)①	[名]	早晨
便(びん)①	[名]	航班、飞机
早起き(はやおき)②	[名、自サ]	早起、起早
酔う(よう)①	[自五]	晕(车、船等); 醉

幸い(さいわい)①	[副]	幸而、好在
晴れる(はれる)②	[自下一]	晴、晴朗
快適(かいてき)①	[名、形动]	舒适
で	[接]	那么、于是；因此、所以
方角(ほうがく)①	[名]	方向、方位
東北(とうほく)④	[名]	东北
当たる(あたる)①	[自五]	在、位于
早速(さっそく)①	[副]	立刻、马上
天壇公園(てんだんこうえん)⑤	[专]	天坛公园
次々と(つぎつぎと)①	[副]	一个接一个、接连不断
乗り込む(のりこむ)③	[自五]	乘上、坐进
足もと(あしもと)④	[名]	脚下
気をつける(きをつける)④	[组]	注意、留神

常用语

(どうも)お疲れさまでした。	您辛苦了。
ようこそいらっしゃいました。	欢迎、欢迎。
こんにちは。	你好。
どうぞよろしく。	请多关照(初次见面时)。
はい(いいえ)。べつに。	是的(不)，没有(什么)。
(どうも)すみません。	对不起，谢谢。
ご案内いたします。	我来带路；我来介绍。
どうぞ、こちらへ。	请到这边。
少々お待ちください。	请稍等。
ありがとうございます。	谢谢。
(どうぞ)よろしく願ひいたします。	请多关照；拜托了。
こちらこそ。	我得请您多关照(用于回话)。
(どうぞ)ご遠慮なく。	请不要客气。
お気をつけください。	请注意；请小心。

注释

1. お疲れさまでした

表示慰劳的寒暄语，和“ご苦労さまでした”相比，礼貌，用于尊长。“ご苦労さまでした”较随便，一般用于平辈或上对下，不可用于对尊长。